



# 双塔

カトリック新潟教会

2024年6月

No. 432

Let it be

主任司祭 田中丈夫

聖母マリアのことを思う時、自然と浮かんでくるメロディがある。

ビートルズの「Let it be」である。「Let it be」は1970年代の始めに若者の間で流行った歌です。

1960年代から70年代にかけての世界は、ベトナム戦争、核兵器の恐怖、人種差別の問題、麻薬、等等、多くの社会的政治的問題が山積していた時代でした。日本においては日米安全保障条約の問題があり、学生運動が盛んな時でした。この年代は巨大な政治的、経済的圧力の中で挫折感を味わい、希望を失っていた若者が、どのように生きるべきか暗中模索していた時代だといってよいのではないのでしょうか。Let it beは、そのような時代の中であって流行しました。

ところで、Let it beは聖母マリアの賢明な言葉（知恵ある言葉とも訳されている）「あるがままに」と訳されていますが、一説によれば聖母マリアが受胎告知の後、天使に言った「お言葉どおり、この身に成りますように。」であるということです。（RSV,NKJV 参照 “let it be to me according to your word” 〈luke1:38〉）

2000年前、マリアの生きた時代・社会もまた混迷と不安の中にもありました。そのような社会・時代の中にあっても、マリアは希望を失うことなく神へ信頼を置き続けました。そしてマリアが神のことばを受け入れることによって救いの歴史は新たな展開を見せます。救い主イエス・キリストが誕生するわけです。イエス・キリストの誕生と深い関係のある「お言葉どおり、この身に成りますように。」というマリアの言葉がLet it beであるということです。

このことを心にとめて「Let it be」を聞いてみると、「お言葉どおり、この身に成りますように」というマリアの言葉は、1970年代の若者の心に優しく、しかも力強く響いていたであろうことが想像できます。

若者たちはこのマリアの言葉によって励まされ、生きる希望を持ち続けたのではないのでしょうか。

「お言葉どおり、この身に成りますように」「Let it be」は、いつの時代、どんな社会にあっても人々の心に響く言葉なのではないかと思えます。現代の社会に生きる人々にも希望のメッセージを送り続けていると思えます。

このマリアの言葉を自分の心に響かせ、マリアの生きる姿勢に学ぼうとする人がいる限り、救いの歴史が中断することはない、希望が絶望に変わることはない、そんなことを考えます。

以下に、深川ぼたん氏の訳による歌詞を載せます。

♪ 苦悩に落ち込んでいる時には、聖母マリアが現れて、賢明な言葉をかけてくださる♪「あるがままに」。

♪ 暗闇に包まれた時、マリアが私の前に現れて、賢明な言葉をかけて下さる♪「あるがままに」。

Let it be, Let it be, 賢明な言葉をつぶやいてごらん♪「あるがままに」。

♪ 打ちひしがれた人々が、1つの価値観で結ばれる時、そこに必ず道が開けていく♪「あるがままに」。

♪ 彼らがはなればなれになっても、いつか再会の時が来る、そこに答えがあるだろう♪

♪「あるがままに」。

Let it be Let it be, そこに答えがあるだろう♪「あるがままに」。

Let it be, Let it be, 賢明な言葉をつぶやいてごらん♪「あるがままに」。

♪ 暗雲立ち込める夜でさえも、私を照らす光がある、明日も照らしておくれ♪「あるがままに」。

♪ 音楽の調べに目を覚まし、聖母マリアが現れて、賢明な言葉をかけて下さる♪「あるがままに」。

Let it be, Let it be, そこに必ず答えがある♪「あるがままに」。

Let it be, let it be, 賢明な言葉をつぶやいてごらん♪「あるがままに」。

上記の文章「Let it be」は22年前に教会報『むぎつぶ』に掲載したものである。

当時、私は既に若者と言える年齢を過ぎていたのだが、周りには若者たちが大勢いた。私の思いは若者たちにも響くのではないかと思っていた。今はどうなのだろうか。今、教会で若者の姿を多くは見かけない。が、もしかしたら、かつて若者であった人々たちには響くのではないのだろうか、等と思っている。もちろん今の若者の心にも届いて欲しい。

5月は聖母月である。そして私が司祭叙階の恵みをいただいた月でもある。「Let it be」という聖母の言葉を心に響かせながら、私も「Let it be」とつぶやいている。

## ♪ インフォメーション! ♪

### ●聖書勉強会

日時 毎週水曜日 午前10時～、午後7時～ 会場 カトリックセンター研究室

指導 田中神父

★6月5日は田中神父不在のため10時、7時ともに休講となります。

### ●信仰養成講座

日時 毎月第2土曜日 午前11時～ 会場 カトリックセンター研究室 指導 田中神父

### ●月曜会（秋田の聖母を通して祈る会）（野村）

成井司教のミサとロザリオの祈り（どなたでも、ミサのみ参加も可）

今後の予定 6月10日(月)（田中神父様司式）、7月8日(月)

時間 午前11時～ 指導 成井司教 会場 新潟教会聖堂

主日のミサと同様、感染症対策は個人の判断に委ねられています。

### ●お掃除についてお願い

センター研究室、2階ホール、台所は使用した方がお掃除をしてください。よろしくお願いいたします。

### ●「異人池茶の間」～語らいの場～

センター1階の研究室にて。インスタントコーヒー、紅茶、日本茶をセルフサービスでのご提供、無料で楽しめます。ぜひお立ち寄り下さい。皆様ご協力の上、楽しいひとときを分かち合いましょう。

## ♪ そよかせ便り ♪

### ●田中神父、町田神父歓迎会 4月14日

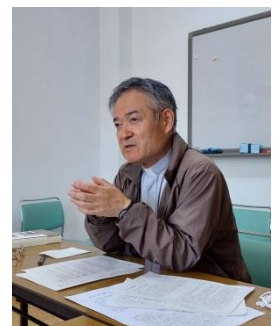
9時半ミサ後、センター1階で、茶話会形式で両神父の歓迎会が行われた。復活徹夜祭で受洗された方のお祝いも兼ねての会となった。町田神父もお元気な姿でご挨拶された。田中神父は、オカリナで「アイノカタチ」を演奏され澄んだ音色が会に花をそえた。オカリナに合わせて皆で「主は水辺に立った」を歌い、田中神父より祝福を頂き会はお開きとなった。



### ●聖書勉強会 & 信仰養成講座 始まる 5月8日、5月11日

田中神父指導の聖書勉強会が5月8日(水)から始まった。午前10時からと午後7時からの2回行われる。初回は『イエスと出会う』（売店で販売中）を参考にイエスが生まれた背景を説明された。最後に一言ずつ感想を述べ合い、和やかな雰囲気であった。日中出席できない人を対象に夜の部も開設された。

同じ週の11日(土)には『信仰養成講座』も開始。テーマは秘跡について。



## 2024年6月の予定

※予定は随時変更になる可能性があります。ご了承ください。

日	主日、祭日、祝日、祈願日等、教会の行事
2日(日)	<b>キリストの聖体（祭日、年間第9週）</b> ・小教区評議会（9:30ミサ後） ・英語ミサ（12:00） ・清掃日（センター、外のトイレ；英語ミサ後） ・地区協（13:00）
7日(金)	<b>イエスのみ心（祭日）</b> ・ミサ10:00（初金）
8日(土)	・信仰養成講座（11:00 研究室）
9日(日)	<b>年間第10主日</b> ・総務部会（9:30ミサ後 研究室）
16日(日)	<b>年間第11主日</b> ・清掃日（聖堂、外のトイレ、センター；9:30ミサ後） ・ベトナム語ミサ（12:00）
23日(日)	<b>年間第12主日 聖ペトロ使徒座への献金</b> ・広報部会（9:30ミサ後）
24日(月)	<b>洗礼者聖ヨハネの誕生（祭日）</b>
29日(土)	<b>聖ペトロ 聖パウロ使徒（祭日）</b>
30日(日)	<b>年間第13主日</b> ・国際協力部会（9:30ミサ後 研究室） ・教会維持費の整理（9:30ミサ後 事務室）

### ※ ミサ時間

日曜日（7:00、9:30） 英語ミサ（第1日曜12:00） ベトナム語ミサ（第3日曜12:00）  
週日（7:00、金曜のみ10:00）

★6月4日、5日の朝7時のミサは司祭不在のためありません。

